

大分県景観ハンドブック作成業務の概要

1. 背景等

○大分県広域景観保全・形成指針の策定(R5.3)

良好な景観の保全・形成を図るには、地域の住民にその地域の景観の価値や自らの役割について、改めて認識してもらうことが大切です。このため、県内各地でセミナーやワークショップの開催に取り組んでいきます。

第4章 4-2 広域景観保全・形成に向けた県の取組と各主体の行動指針
(3) セミナーやワークショップ等の開催

○大分県景観副読本の作成(R6.3)

小学校高学年を対象に、学校教育等を通じ、本県の持つ美しく豊かな自然環境などで形作られる**「おおいたらしい景観」の価値**に対する**「気づき」**を促し、身近な景観に対する意識を高めてもらうことを目的とし副読本を作成した。



○令和4年度文部科学白書

各地域において地域固有の魅力や特色を改めて見つめ直し、その維持発展に取り組むことが期待されているところです。こうした中で、地域における学びは、一人一人の生涯にわたる学びを支援し、**住民相互のつながりの形成の促進、地域の持続的発展にも資することから、より一層重要になっています。**

第2部 第3節 社会教育の振興と地域全体で子育てを育む環境づくり
1. 社会教育の振興 (1) これからの社会教育の在り方

2. 取組・ねらい

景観ハンドブックの作成によって以下の効果実現を図る

- ・「おおいたらしい景観」の価値に対する気づきを促す。
- ・子どもから大人まですべての県民の景観に関する意識を高める。
- ・景観を保全・形成するために、自分たちが主体的に何をすべきなのかを知ってもらう。

3. 対象

中学生以上のすべての県民



4. 活用方法

- ・景観シンポジウムやセミナーの説明資料
- ・公民館等を活用した生涯学習講座

5. ハンドブックのイメージ

「おおいたらしい景観」とは何かを知り、その景観を守り、次世代に継承していくために、自分たちは何をすべきなのかを理解できるものとする。

(構成イメージ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ① 景観とは | ⑥ こんな大分になったらいいな |
| ② 景観が人に与える影響など | ⑦ おおいた景観マップ |
| ③ 大分県の景観の特徴 | |
| ④ 景観を保全・形成するための取組 | |
| ⑤ わたしたちにできること | |

